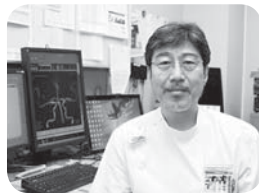


## ★ここが知りたい！★ 米沢市立病院紹介 30

# のうしんけいげか ☆脳神経外科編☆



脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなり細胞が死んでしまう怖い病気です。また発症後に命が助かったとしても後遺症が残ることも多く、寝たきりの要因にもなります。脳卒中の予防方法について、脳神経外科長の伊藤健司医師にお話を聞いてみましょう。

**Q** 脳卒中にならないための予防方法を教えてください。

**A** 脳卒中で入院している患者さんの多くが「高血圧」や「糖尿病」を合併しています。脳卒中にならないためには、これらの病気を治療することが大事です。また、飲酒・喫煙の生活習慣がある人も多く見られます。特に、タバコは大きな危険因子で、全ての生活習慣病の危険因子といっても間違いではありません。周囲の人にも影響（受動喫煙）がありますので、ぜひともやめることをお勧めします。

以前にも紹介しましたが、脳卒中に関わる人たちの間では、**ACT(アクト)－FAST(ファスト)**という言葉が、かけ声のように使われています。次のような症状が出たら「行動(ACT)しましょう」というものです。

**F**は**Face(フェイス)**で「顔」… 笑ったときに顔の片側に麻痺があるなどの症状。

**A**は**Arm(アーム)**で「手」… 手を上げて、力が入らないなどの症状。

**S**は**Speech(スピーチ)**で「会話」… 会話が変わるとか、ろれつが回らないなどの症状。

**T**は**Time(タイム)**で「時間」… これらの症状が出たら、治療するまでの時間が重要です。「様子を見て、次の日になったら…」ではなく、急いで脳神経外科や救急外来を受診してください。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>